

各位

沖縄県労働金庫

「生理の貧困」解消に向けた会員団体等との 協同取り組みについて（中間報告）

沖縄県労働金庫（理事長 高良 恵一）は、コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」という社会課題の解消に向けた一助として、会員団体である沖縄県教職員組合（以下、「沖教組」と言います）および、労働者福祉事業団体である公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会（以下、「沖縄県労福協」と言います）との三者の協同で、下記の取り組みを2022年6月より開始しました。

厚生労働省が2022年3月23日付で公表した調査結果では、経済的理由などで生理用品の購入・入手に苦勞した経験がある女性について、18歳・19歳の20代以下が年代別で最も多い12%超という結果となり、若年層で「生理の貧困」が深刻化している現状が報告されています。そのような現状において、学校現場に専門性を有する沖教組と連携し、生理用品の入手に困難を抱える児童・生徒へ「吸水サニタリーショーツ」を無償配布することで、生理用品の入手頻度や、それに係る精神的・経済的負担の軽減につなげていきたいと考え、取り組みを進めてまいりました。

今般、2023年1月末現在での取り組み状況を取りまとめましたので、下記のとおりご報告いたします。

1. 取り組み趣旨

- ① コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」という社会課題に対し、会員団体等との協同で解消に向けた取り組みを行う。
- ② 一般的な生理用品（使い捨て）の配布は広がりつつある中で、「生理用ショーツ」という選択肢を組み合わせることで、生理用品の調達頻度やそれに係る精神的負担、経済的負担の軽減につなげる。
- ③ SDGsの観点からも使い捨て生理用品のゴミ排出削減の一助とし、環境へ配慮した取り組みとする。

2. 具体的な取り組み

具体的な取り組み概要は以下のとおりです。

- ① 【取組名称】 沖教組「吸水サニタリーショーツ」無償配布制度
- ② 【取組期間】 2022年6月1日（水）～2023年3月31日（金）
※在庫がなくなり次第終了
- ③ 【配布対象】 主に経済的な理由で生理用品の購入が難しいと思われる児童・生徒
※対象者の判断は養護教諭、またはスクールソーシャルワーカーが行います。
- ④ 【配布商品】 ユニクロ製「吸水サニタリーショーツ」同一サイズ 2枚で1セット
小学生向け 133セット / 中学生向け 151セット
合計 284セット（総額 899,982円分）

3. 配布状況

2022年6月1日から2023年1月31日の期間中の配布状況は以下のとおりです。

| | 当初在庫 | 配布済 | 在庫 | 使用率 |
|----------|------|-----|----|------|
| 小学生（150） | 93 | 44 | 49 | 47% |
| 小学生（160） | 40 | 40 | 0 | 100% |
| 合計 | 133 | 84 | 49 | 63% |

| | 当初在庫 | 配布済 | 在庫 | 使用率 |
|--------|------|-----|----|-----|
| 中学生（M） | 106 | 35 | 71 | 33% |
| 中学生（L） | 45 | 26 | 19 | 58% |
| 合計 | 151 | 61 | 90 | 40% |

※（ ）内はサイズです。また個数はセット数（2枚1組）です。

4. 今後の取り組みについて

これまでの取り組みをつうじ、本「吸水サニタリーショーツ」を必要とする児童・生徒が多くいることが明確になりました。特に、サイズによってはすでに在庫が尽きている状況もあり、必要とする児童・生徒に届けられない現状となっています。また、学校現場で配布対応を担う沖教組からも、取り組みの継続を要望するお声があることから、関係する3者で取り組みの継続に向けて協議を進めます。

（参考）

配布する「吸水サニタリーショーツ」は、「笑顔であいたい感謝祭 2021」の特別企画で「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄付された寄付金を購入資金としています。

以上